

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

率先しよう Lead The Way

RI 会長 ウィリアム・ビル・ボイド



2006~2007

残心 に あり

富津中央 RC 会長 永島 強

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2000 第25回例会 2007. 1. 18 晴

点 鐘 : 永島 強 会長

進 行 : 原田雅式 副 SAA

ソング : 我等の生業

会長挨拶

永島 強 会長

皆様今日は、早いもので一月も半ばを過ぎました。元旦を大正月、15日を小正月と言いますが、大正月には年神や祖霊を迎える儀式張った行事が行われるのに対し、小正月には生活に根付いた様々な行事が行われます。例えば豊作祈願、悪魔払いなどが行われ、又大正月に忙しく働いた女性達をねぎらう意味で女正月という地方もあるようです。私達も主婦に対して思いやりと感謝の気持ちを表しましょう。

会長報告

1. 当2790地区次期がバナーは、白鳥政孝・現ガバナーの続投と決まりました。
ガバナー・ノミニーは崎山征雄氏(習志野中央 RC)となりました。
2. 2/14 塩山RCより「花見例会」への招待がありました。出席希望者は今月中に申し出下さい。
3/25 塩山RC 35周年記念式典
4/25 富津シティRC 15周年記念式典

幹事報告

大網庄一郎 幹事

1. 2月9日開催第4分区 IM 参加者について各クラブに10名前後の登録要請があり、当クラブは会長以下9名の参加となりました。
2. 行事出席依頼
(1) 3/25 銚子RC 50周年記念
(2) 2/10 茂原ローターアクトクラブ 認証状伝達式
(3) 2/4 第7回富津市生涯学習推進大会
3. 3/25の塩山RC花見例会に出席できる方は本日例会終了後申し出てください。

結婚祝



志波 克・甫子 昭和 37 年 1 月 21 日

〒293-0042 富津市小久保2868

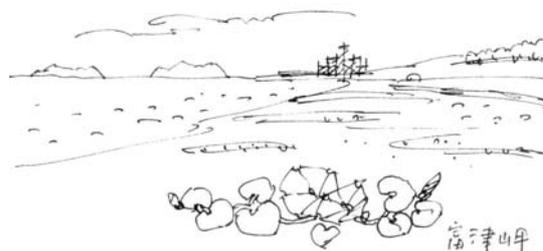
さざ波館

Sazanami-kan

2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,

Zip code 293-0042

Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304



一言： 結婚 45 周年になります、10 年くらい前から夫婦で旅行に出るようになりました。壮年期には考え難い事でしたのに、最近では邪魔に感じず、むしろ一緒の方が楽しいようになりました。暫くはこの経年変化を楽しみたいと思います。

誕生祝



三井 進 昭和 26 年 1 月 10 日

今年の抱負

出席委員長 刈込碩弥



新しい年を迎え、新しい計画を立てスタートしたいところですが、思いがけず長生きをした年を考えるとつい計画段階で躊躇してしまいます。しかしまあせつかく生かされているのですから、足下で出来ることを一生懸命やっていきたいと思っています。

皆さんも健康に留意して、出席率向上に努めて下さい。



職業分類委員長 高島治雄



毎年暮れになると我が家の 10 大ニュースは何だろうと家内と探す。昨年の夫婦での話題性はロシアの旅、箱根金時山登山位で、あとは孫の出来事、娘達のことばかりであった。何とも平凡な話題の乏しい 1 年だったねと顔を見合わせたものだ。でもこの平凡さが良いのかも知れない。

年改まって、今年も又その様な一年になることだろう。残念ながら 1 年を通して夢と希望の実現に邁進する年齢ではなくなった。そこで私は 1 ヶ月を単位として体を使い、頭を刺激し、今日の晩酌は旨いと言えるような日々のスケジュールを組み立てて 12 ヶ月を過ごすようにしたいと思う。これが年頭に当たっての私の所感である。

強いて言えば、趣味で進めている陶芸で電動ロクロによる高さ 30cm 位まであげたいと(これはなかなか難しい)精進したい。

一方ロータリークラブにあつては、会員皆さんが危機感を持っていると思うが、最悪の場合 20 人を割り込んでしまう当クラブの状況をどう改善し、会員増強を進めてゆくかが大きな課題であり、職業分類からも協力してゆきたいと思っている。





新年明けましておめでとうございます。

年頭の所感と言うことですが、まずは週報の委員長としては、志波克副委員長をはじめとして委員の方々に恵まれて順調に発行してこられました。これからは最後まで発行できるように努力して参りたいと思います。

又、個人的には昨年見つけたメタボリックシンドロームを食事療法と運動療法によって克服して行きたいと思っています。

国際奉仕・世界社会奉仕委員長 志波 克



国際奉仕委員会としては活動計画書に書きました通り、ロータリーを基盤に外国の人々との交流を深め、又ささやかでも意義ある金銭的援助を行ってゆきたいと考えています。

具体的には、4月の台湾訪問で嘉義南、台南西、阿里山の各クラブを訪れ会員相互の交流を深め、又図書贈呈でマッチンググラント移動図書館の充実を図る予定です。6月には国際大会がありますので、この機会も活用したいと思っております。

個人的には、不完全でもパソコン教室を立ち上げ、

地域から世界に向かって直接対応する人々が輩出するのを夢見たいと思います。

親睦委員長 小野恒靖



私は今年も卓球と国際交流協会で活躍したいと考えています。

1. 全日本卓球選手権が綾瀬の東京都体育館で開催中で福原愛が活躍しています。
2. 過日、読売新聞杯卓球大会60歳代の部で残念ながら決勝で敗れ、2位になりましたが賞状は貰いました。
3. 富津市国際交流協会グッズのTシャツのデザインが選定されました。
4. カールスバッド海外派遣青年団は今年度は5人が一般公募で選ばれ3月4日に出発します。帰国報告会が4月8日に行われます。

ニコニコBOX

小野恒靖 親睦委員長

- 三井 進 誕生祝
- 志波 克 結婚祝
- 白石幸久 結婚祝
- 三枝一雄 結婚祝
- 〃 〃 誕生祝
- 石渡 鋼 海南島より無事帰国
- 志波 克 〃 〃
- 小野恒靖 読売新聞杯卓球大会60歳代で準優勝
詳しくは、読売新聞、千葉日報
- 三枝一雄 なんとなく

合計 14,000 円

出席報告

刈込碩弥 出席委員長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	20	15	5		75%
前回	20	15	5		75%

◇◇◇◇◇ 会員投稿 ◇◇◇◇◇

ロシアの旅(見て・聞いて・感じた) - その1

高島治雄

ロシアの店員は無愛想だよ、共産主義社会が長かったからその必要性がなかったんだな。こんな会話を耳にしていたロシア観はどちらかと言うと、ずるい、厳しい、排他的・・・とマイナスのイメージが私にはあったが、ゴルバチョフがペレストロイカ宣言をして、かれこれ15年間、今はどんな暮らし向きなんだろうか興味があった。そしてさらに直近のサミットがロシアのサンクトペテルブルグで開催され、その折りに世界でも屈指のエルミタージュ美術館などの紹介を見て、ロシアへの旅の思いを募らせたのが今回の動機である。

9月19～25日までの7日間に亘るサンクトペテルブルグ・モスクワ二大都市を巡るロシアへの旅に出かけた。

歴史に翻弄され幾度かその名称を変えたサンクトペテルブルグ、それは又華麗なるロマノフ王朝の中心都市でもあり、ロシアの後進性を打破し、ロシア中世の近代化の幕を開けた都市でもある。今もまだ街のどこを切り取っても中世の息吹を感じさせるたずまいが残っている。

そして世界遺産になっているモスクワの赤煉瓦に囲まれたクレムリン。私達がよく目にしたクレムリンの前に広がる赤の広場でのあの壮烈な軍隊の観閲式の様子が目に浮かぶ。そこには未だにレーニン廟に参拝する長蛇の列を垣間見た。更にはモスクワの郊外に建つ俗に言うレーニンアパート(国が無料で提供したもの、今ではそこに住んでいる人に無料で個人名義変更されている)に住む一般市民とのお茶を飲みながらの意見交換などの体験。このようなスケジュールとプログラムに忘れがたいカルチャーショックを感じた旅であった。

☆サンクトペテルブルグにて



ロシア帝国は国策上バルト海に通じる港(軍港)を築くことが長年の夢であった。しかし当時の強国スウェーデンによってその都度阻止され続けていたが、遂にピョートル1世(大帝)が北方戦争においてスウェーデンを撃破しこの地にペテロバウロフスク要塞を構えたのが、サンクトペテルブルグの発祥の由来である。1703年ピョートル大帝の名を取ってサンクトペテルブルグと命名したと言われる。

当時この地は多くが標高1.2～2mの沼地で地盤が弱く、通称40万人のスウェーデン捕虜を連れて来て運河作りに杭打ちに酷使し、造成を図ったと聞く。(何故か第二次世界戦争における関東軍のシベリヤ抑留に似ていませんか。)1例として市内に有名な聖イサク寺院があるが、その基礎として15,000本の杭打ちをしたと言う。この造成によって多くの運河がめぐらされサンクトペテルブルグが北のベニスと言われる由縁がここにある。

このようにして1703年に建都し1713年から1918年の約200年に亘りロシア帝国並びにソ連邦の首都となっている。

しかしその間、歴史に翻弄され、その後ペテログラードそしてレニングラード、又元に戻ってのサンクトペテルブルグと幾度かその名称を変えることになる。いずれにしても栄華をきわめたロシア帝国の中心地であり、又ロシア革命の発祥の地でもある歴史と文化の重なりを織り込んだ都市として、今でも随所にその面影を残す一見に値する都市であると言える。

あとがき:高島会員から旅行記原稿を頂きました。読むとロシア通になれます。有難うございました。紙面の都合で数回に分けることをお許し下さい。